

市議会だより きたあきた

No.35

平成25年5月1日発行

3月定例会

- 本定例会の審議 2～3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～11
- 議案に対する議員の態度 11
- 請願・陳情・人事案件 12
市議会議員補欠選挙

上級生に手を引かれ 小学生の仲間入り

平成25年度市立米内沢小学校入学式

平成25年度 一般会計予算

196億4689万2千円



平成25年北秋田市議会3月定例会は、2月22日(金)から3月7日(木)までの14日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案11件、新年度予算案23件、今年度補正予算案15件、単行議案7件など65件の議案を審議しました。最終日には、採決が行われ、議案は賛成多数または全会一致により、全て原案のとおり可決されました。

歳出の主なもの

- 国民文化祭開催事業 2151万5千円
- 内陸線運営事業補助金 1億1970万円
- 選挙執行費(6選挙分) 1億6977万5千円
- 北秋田市民病院負担金 5億5904万9千円
- 屈折はしご付消防自動車購入事業
1億1545万4千円
- 秋田県総合防災情報システム整備事業負担金
3403万4千円
- 合川小学校建設事業 5億6615万円
- 伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業
1億6515万1千円

平成25年度一般会計予算は、4月が市長選挙の改選期であることから、骨格予算として編成されています。継続している小学校建設事業や選挙費が前年度比で大幅増となること、さらには総合防災情報システム更新事業や屈折はしご付消防自動車の購入など市民の安全安心に直結する経費については新規事業を計上していることから、前年度比0・5%増となりました。

最終日に、健康福祉常任委員会から報告のあった「平成25年度北秋田市病院事業会計予算」の議案については、反対討論、賛成討論が行われ、起立採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。なお、討論の内容については次頁のとおりです。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

議案第33号 平成25年度病院事業会計予算

反対討論



板垣淳議員

市民病院への指定管理料としての債務負担や建設費の借金返済などは今の厳しい市財政をさらに悪化させる。この打開は、医師確保を推して収益増を図ること。しかし、新年度予算に医師確保予算はゼロ。市民病院への課題改善の意気込みがほとんど見られない。

賛成討論



小笠原寿議員

予定通り稼働できないのは、市の施策や厚生連の責任よりも国の医療費抑制政策や新医師

臨床研修制度によるものが大きい。当局、市長、厚生連だけに任せるのではなく、予算を通して、市議会も住民も一丸となって施策や提案を行い、取り組んでいくべきである。

反対討論



福岡由巳議員

医師確保は、常勤医1人減など前進せず、今1人でも多く確保することが緊急です。わが議員団は、医師確保の予算化やプロジェクトチームなど提案しているが、市長のトップセールスが主で成果が見えません。もう1点は、指定管理者制度の趣旨から逸脱した赤字補てんまで負担の会計は納得できず反対です。

賛成討論



関口正則議員

これまでも医師確保に努力してきており、運営の改善にも努めている。負担金については、平成23年度から25年度の指定管理料の支払額及び支払予定額が債務負担行為額の範囲内であるため、24年度の指定管理料が増えたことをもってこの予算を認めることはできないという主張には当たらない。

賛成討論



佐藤文信議員

医師確保の予算等に関しては、厚生連が行うのがベスト。医師確保は市の財政上の問題だけでなく、市民の医療環境を整備することによって安心・安全な地域をつくるには必要不可欠。予算を否決して病院運営に支障を来たすようなことは、避けなければならない。

討論とは



議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することです。単に自己の賛否の意見を明らかにするだけでなく、意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努めることにその意義があります。討論の回数については、1議題に対して、1議員1回が会議原則とされています。また、討論交互の原則により、議長は、最初に反対者を発言させて、次に賛成者と反対者をなるべく交互に指名して発言させなければなりません。

市ホームページより

本会議等の会議録がご覧になれます

北秋田市議会では、各定例会の本会議や臨時会の会議録（平成22年4月以降分）を市ホームページ内で公開しています。

これまでも、議会事務局や鷹巣図書館において、冊子で公開されておりますが、市ホームページ内でも公開しており、家庭や職場などから簡単に閲覧することができます。

(HPアドレス→<http://www.city.kitaakita.akita.jp/gikai/>)



総務財政

秋田県総合防災情報
システム更新

当委員会に付託された案件は、予算案17件、陳情1件でした。

平成25年度一般会計予算所管分について、歳入予算は、各事務事業の特定財源となる国・県支出金などを計上したが、地方譲与税等の算定の基礎となる地方財政計画の詳細が示されていないことから、2款から8

款までは昨年度同額としているとの説明を受けました。また、歳出予算は、市長選があるため、骨格予算であり、当委員会としては政策的予算が少なかったわけですが、秋田県総合防災情報システム整備事業など市民生活の安心・安全につながる事業については、一部新規事業も計上され、備蓄品

として、主食のパンが2400食、アルファ化米750食、飲料水が1900リットルを各窓口センターに、それぞれ3分の1ずつを配置するとともに、停電時にも作動できる防災情報システムの更新を目指すとの説明がありました。

また、補助金交付団体や指定管理者への監査について質疑があり、概ね3年に1回あたるサイクルを組んで実施しているとの説明があり、毎年の監査が必要ではないかとの意見がありました。

24年度財調残高
47億541万3千円

平成24年度の補正予算について、財政調整基金の年度末残高は47億541万3千円との報告を受けました。当委員会に付託された案件は陳情を含め全会一致で

原案可決、採択すべきものと決しました。

(委員長 黒澤芳彦)



各窓口センターに配置される備蓄品

教育民生

阿仁部一括の
給食調理施設を計画

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案5件、単行議案3件でした。

北秋田市立小中学校条例及び北秋田市立小中学校給食調理場条例の一部を改正する条例の制定については、合川地区の小学校での自校方式の給食調理場が廃止になるとの質疑がありました。

当局からは、阿仁、森吉地区の給食調理施設も老朽化が激しく、平成27年4月1日の統合合川小学校の開

校に合わせて、合川、森吉、阿仁地区の学校給食を一括して賄う施設を造る計画であるとの答弁がありました。平成25年度北秋田市一般会計予算所管分については、消防本部関係では、更新す

るはしご車についてどのような災害を想定しているのか質疑があり、はしごの長さは5、6階の建物を想定した25メートル、またマイナス15度まで屈折するため河川などの低い場所でも使用可能であるとの答弁でした。

市民生活部関係では、自治会館整備事業費補助金の該当箇所について質疑があり、大沢、田沢、三里、その他1か所を予定しているとの答弁でした。

合川小用地
買収単価は同一

財産の取得（合川小学校用地）については、統合合川小学校建設に伴うものでした。買収予定地は田の形、面積等様々だが、単価が全て同一ということに対し地権者からの意見はなかったかとの質疑がありましたが、特に意見はなかったとの答弁でした。

以上を含む当委員会に付託されました全11議案については、全会一致で原案の

とおり可決としました。

(委員長 松橋 隆)



給食調理場（合川北小）

健康福祉

指定管理料・医師確保 厚生連と協議へ

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案12件でした。

条例案は、上位法の改正により、所要の規定の整備を行うものであり、各施設の基準などの資料提供を受け、深く審議ができました。平成25年度一般会計予算所管分では、保育園のあり方検討委員会の最終提言は

5月頃になるとの答弁がありました。

社協補助金 ルールを検討

社会福祉協議会の補助金が750万円減額されたことについては、補助金の明確な根拠とルールが必要であり、検討と協議を進めていくとの答弁がありました。

福祉の雪事業については、

本来、自力でできない人が対象であることから、一律負担でいいのか等、実態や意見聴取しながら事業内容の変更を進めていくとの答弁がありました。

市民病院の指定管理料が増えているのは、24年度の電子カルテ導入による、4、5月の入院患者数の抑制と年度途中に医師が辞職したため等によるものであり、実績を踏まえて引き上げざるを得ない旨、厚生連の事業収支計画書に示されていた。

るとの答弁がありました。

平成25年度北秋田市病院事業会計予算では、反対討論、賛成討論がありました。（反対討論）市民病院に対する市の負担は年々増えている。債務負担行為97億円のほか建設費の借金返済がある。交付税算入があるが赤字だ。医師確保の予算ゼロの姿勢を改めるべき。（賛成討論）市民病院の経営は厳しい状況だが、後退することはできない。当局から経営改善への力強い意気込みがあるので、頑張っ

てほしい。

審査の結果、平成25年度一般会計予算、同病院事業会計予算、平成24年度病院事業会計補正予算は賛成多数、その他の議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 中嶋洋子）



保育園等の在り方
検討委員会

産業建設

農畜産物の重点推奨品目の 補助率アップ

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案10件、単行議案4件でした。25年度一般会計予算では、農業の重点推奨品目を中心に農業振興に力を入れ、重点品目の補助率を3分の1から2分の1にアップしました。現状として畑作農家を確保するのは困難であるが、まずはやる気のある農

家に頑張ってもらうべく支援を厚くしたい。また建設課の審査においては、除雪ドーザ等の状況について、総台数として82台保有しており、15年以上経過しているものは49台、さらに25年以上のものは12台にも上り、計画的に更新を図っていくよう努めるとの説明を受けました。

市民に安全・ 安心な水を供給

25年度簡易水道特別会計予算では、統合簡水を休止しており、旧合川町、旧森吉町について比較的事业を抑えてきた経緯があるため、現行施設を補修、補強しながら市民の方々に安全・安心な水を供給したい。また24年度一般会計補正予算では、農林水産業費の減額について、農業生産施設復旧支援事業費補助金、経営体育成支援事業費補助金につ

いては、昨年の暴風雪によるハウス等の被害実績によるもの、また一部事業についても導入機械の変更等による差額があったためなどの説明がありました。

条例案3件は、いずれも上位法の施行及び改正に準じたもので、単行議案については、特別会計（簡易水道・農業集落排水事業・下水道事業・特定地域生活排水処理事業）への繰入についてであり、審査の結果17議案全てを全会一致で原案のとおり可決すべきものと

決しました。

（副委員長 金田 司）



▶ 計画的に更新を図る
除雪ドーザー

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

▶各議員の質問に答弁する津谷市長



一般質問は、2月26日・27日に行われ、10名の議員が市長に対して、阿仁診療所建替え、福祉の雪事業、農業の六次産業化、市道びな森線の県道昇格など様々な問題についてたどしました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

空き家対策に条例必要



関口 正則 議員（みどりの風）

問 豪雪対策について、国からの除雪費補助と被害に対する対応は。又、苦情の多い空き家の雪下ろしについて、実態に応じた対策と空き家条例の整備が必要と思いますがどのような考えているのか。



▶積雪で倒壊した空き家

答 現在、特別交付税の前倒しで2億3000万円が交付されており、今後は追加支援の基礎となる降雪・除雪執行状況などの調査結果を県に提出している。又、

農業施設の復旧支援については国県の動向を踏まえて対処します。空き家については本年度調査しており、条例化を視野に検討させていただきます。

議員：阿仁診療所の建替えは

市長：25年度から3年計画で

問 阿仁診療所は築38年が経過し、老朽化が進み、維持管理上も安全上も問題がある。又、昨年の所管調査の際にも早急に整備計画に組入れるよう提言していますが、計画は進んでいるのか。又、以前あった開発センターの利用計画はどうなったのか。建設地などについて、関係者との協議を進めていただきたい。

答 24年度に雨漏り防止工事を行い、今年度は玄関前スロープの改修を予定しており、適正管理に努めてきたが、25年度から市総合計画の3カ年計画に組入れる。阿仁診療所の建替えを検討することになっています。又、以前の計画は白紙の状態、できるだけ早い機会に関係者との話し合いをして参ります。

問 緊急経済対策関連予算に対応し、市が予定している事業は何か。

答 道路補修やトンネル点検、消防救急デジタル無線整備事業、農業水利施設整備事業、市営住宅建設事業、公共下水道事業などを予定しており、事業費は一般会計約16億円、下水道事業会計約1億円の合計17億円で、うち国庫支出金は6億円を見込んでいます。

行政評価制度の進捗は



武田 浩人 議員（公明党）

25年度は外部評価制度の導入を進め、各施策ごとの成果指標を検討して参ります。

議員：福祉の雪事業について

市長：25年度に見直しをする

問 見直しが検討されている福祉の雪事業について伺います。

答 当面は対象を非課税世帯とすることや、年齢の引き上げ、利用者の負担率や、限度額の見直しなどを行い、支払が高額にならないよう工夫して参ります。

問 導入される行政評価制度について、目標の達成状況と、25年度の計画目標を伺います。

答 これまで一般職員の基礎研修出席率が約95%で、延べ522名が参加しております。これで一定の理解が得られ、目標は達成されたものと考えています。

また、合併時の協議事項として継続されてきた事業に評価の必要性が指摘されました。さらに今年度は12の施策と関連する14事業で評価を行った結果、全体的に見直しが必要との判断になり、確実に改革・改善に向かっていくものと認識致します。

問 学校通学路緊急合点検の結果について次の2点を伺います。

①危険箇所指摘の対策はいつまでに行うのか
②中学校で危険が指摘されている箇所は

答 ①未実施の19ヶ所のうち、7ヶ所は25年度中に対策が予定されております。残りの12ヶ所については状況を見極めながら、教育委員会と進捗状況を確認して参ります。

②鷹巣中学校からは、

元町の市道の通行量の増加と、跨線橋下の不審者出現の恐れなどが指摘されています。川井川中学校からは、川井地区Y字路の交通量の多さや、見通しの悪さが指摘されています。これらについては街灯設置の検討や、警察署に防犯対策の要望をするなど、さまざまな対策を行っております。



実施された通学路の安全対策

トップセールの成果は



中嶋 力蔵 議員（清和会）

今後とも企業に足を運び、誘致と雇用に取り組む。

問 秋田県内において副市長2人制をとっているのは、我が市を入れているのは、鹿角、大館、能代等、他市町村は副は1人となっている。市民の声としてトップセールスはどこの首長も言わなくても行動、活動して当たり前のことと言う声があります。

次期への改選後も結果を踏まえて、副市長

問 市長が公言公表して自らトップセールスをするという点から、副市長2人制を取ったものと理解している。

地元大野台工業団地46の内37%以上が空き地となっている他、七日市方面も2・8分の団地がある。この様な空き地をどう生かすか活用するかが課題かと思う。大館市は常時企業誘致が行われている。これまでの成果と実績は何かと合わせ、地元工業団地に対する企業誘致を、どの様に考えているか尋ねる。

答 22年度より3社の増設があり、合せて82名の新規雇用が出来た。

問 鷹巣高校跡地について尋ねるものですが、元々は沢口財産区の土地でありましたが、地元の堂ヶ岱集落へ払い下げとなり、その数年後、高校建設が話題となり、沢口財産区が一且払い下げた土地を地元地域発展のためと言う点から個人から土地を買い求め、秋田県

2人制の行政執行で頑張る考えか尋ねる。

答 現在は白紙の状態ですが2人制により、山積していた課題解決に取り組み事が出来た。北秋田バター餅による市の知名度アップ等の成果も表れている。



北秋田バター餅により市の知名度アップ

議員：跡地の無償譲渡を求めている市長：かなり難しいものかと

に対し無償譲渡した用地と聞いている。秋田県に対して無償譲渡を強く求めて行く事もトップセールスに値するものと思うが、市長の考えはどうか。

答 所有が現在秋田県という事であれば、過去のことを持ち出して市のほうに譲れと言うのは、かなり難しい。

シルバー人材センターの運営について



松田 光朗 議員（新創会）

この趣旨により平成7年に民法の許可があり、設立されたものと思えます。

現在のシルバー人材センターの活動に対し当局は重大な関心と責任があると思うが、その

議員：活動に対しての評価は

市長：遺憾に思っている

問 シルバー人材センターは昭和61年10月1日に施行された高年齢者等の雇用の安定に関する法律により、高年齢者が自主的に組織する会員相互の組織体であり「自主、自立、共働、共助」の基本理念のもとに能力に応じた臨時的かつ短期的な仕事の配分等の業務を行い、高年齢者の就業のための事業を積極的

に実施し、活力ある地域社会づくりに寄与するもので、国や地方公共団体はセンターの育成や高年齢者に対する就業機会の確保等について必要な措置を行うよう法に定められており、

答 法の趣旨に則った運営を行うのが当然のことであり、一連の新聞報道については遺憾に思っている。センターの経理は独自の複式簿記を採用し、処理している。役員の定数は理事17人以内、監事4人以内、任期2年で総会に定める。昨年5月の時点では理事12名、監事2名となっているが、現在は理事10名となっている。新公益法人への移行は今年11月までに許認可権者である秋田県の認可が必要基準を満たしたうえで、公益法人に、又は一般



シルバー人材センター事務所

女性の部課長登用を



庄司 憲三郎 議員（政友会）

を次回の定例会で報告を願いたい。

答 内容によって当該年度内に対応できるものや、相当程度の時間と予算を要するものなど様々であり、経過をお知らせする方法については、時間を頂戴し

問 現在、市役所には多くの女性職員が奉職しておりますがほとんどが主幹止まりである男女共同参画基本法の趣旨にのっとり、庁内の有能な女子職員を部課長に登用すべきでないか。

議員：農業の六次産業化を

市長：重要施策として取組む

問 農林漁業者が農産物などの地域資源を活用して加工、流通、販売を行い、これらの産業の創出を通じて雇用の確保や所得の向上を目指す六次産業化は現在「農業の救世主」のごとく叫ばれている。農産物の付加価値をどう高めるかは今後の課題であり、農業の振興なくして当市の商業の繁栄も、また地域の発展も期待できない。当市の六次産業をどう進めるかについて伺います。

答 市としても六次産



六次産業化に取り組んでいる坊沢宮農組合

ながら探っていきいたいと考えております。
問 当市の小中学校の学校事故における件数、給付金額について。
答 平成23年度は154件、給付金額は215万円となっている。

誘致企業対策は万全か



大森 光信 議員（きらり）

中にいて、対応したホームページの製作は急務と考えている。

議員：ホームページの現状は

市長：課題を解消する

問 本市の基本構想、計画は策定の経緯等含め、公開するべきではないか。

答 施設利用者の利便性の向上に向け、まずは、公共施設の空き情報を提供する。

問 これまで各担当課の判断で行われていたが、各課の認識が統一されていないことから、来年度中にはガイドライン等を定める。

問 情報通信や端末の進化により、市民サービスに役立つ技術が増えると思える。今後、どのようなIT戦略を持つているか。

問 透明性や公平性を保つために、入札や公募などの結果は公表できないか。

答 高速情報通信網を利用したモニター会議が各庁舎間で実施できるように環境整備やタブレット端末の活用によるペーパーレス化など事務の効率化・節約化を図ってまいりたい。

問 今後必要に応じて、優遇措置や支援制度の見直しも考えていく。

答 準備が整い次第ホームページで公表したい。

問 スマートフォンの対応について、スマートフォン対応のページ作成も必要なのではないか。

答 スマートフォンの利用者が急増している

利用者が急増している

利用者が急増している



市民にきめ細かな情報を

今ハコモノ建設は無謀



板垣 淳 議員（共産党議員団）

問 市長は、北秋中央病院あと地にハコモノを建てることを表明したが、建てるには今が最悪の時期。それは、①財政難②また借金が増える③その返済時期は合併特例が切れて交付税が減る時期と重なる④以前あった有利な補助金が廃止された⑤震災復興の影響で建設費が値上がりしているため。

答 健全な財政運営もしなければならぬが、にぎわい創出の街づくりも考えなければならぬ。そもそも、現中央公民館を病院あと地に移転すれば、なぜ商店街がにぎわうことにな

問 市長は、北秋中央病院あと地にハコモノを建てることを表明したが、建てるには今が最悪の時期。それは、①財政難②また借金が増える③その返済時期は合併特例が切れて交付税が減る時期と重なる④以前あった有利な補助金が廃止された⑤震災復興の影響で建設費が値上がりしているため。

答 健全な財政運営もしなければならぬが、にぎわい創出の街づくりも考えなければならぬ。そもそも、現中央公民館を病院あと地に移転すれば、なぜ商店街がにぎわうことにな

問 市長は、北秋中央病院あと地にハコモノを建てることを表明したが、建てるには今が最悪の時期。それは、①財政難②また借金が増える③その返済時期は合併特例が切れて交付税が減る時期と重なる④以前あった有利な補助金が廃止された⑤震災復興の影響で建設費が値上がりしているため。

答 健全な財政運営もしなければならぬが、にぎわい創出の街づくりも考えなければならぬ。そもそも、現中央公民館を病院あと地に移転すれば、なぜ商店街がにぎわうことにな



北秋中央病院あと地

議員：米病廃止で地域が疲弊

市長：確かに影響あった

問 市は療養病床の必要数を130床としながら、市民病院に設置させたのは40床だけ。しかも実際は25人しか入院させていない。是正すべき。

答 稼働率を高めるよう厚生連に申し入れた

問 市は療養病床の必要数を130床としながら、市民病院に設置させたのは40床だけ。しかも実際は25人しか入院させていない。是正すべき。

答 稼働率を高めるよう厚生連に申し入れた

問 市は療養病床の必要数を130床としながら、市民病院に設置させたのは40床だけ。しかも実際は25人しか入院させていない。是正すべき。

答 稼働率を高めるよう厚生連に申し入れた

市民病院の財政改善を



福岡 由巳 議員(共産党議員団)

ービスの向上が図られていることはなく、また、厚生連の納付金は免除で市が赤字補填まで行い市の経費節減には程遠い。市民病院は制度に沿って運営するよう早急に改善すべきでないでしょうか。

答 市民病院は開院して4年目ですが医師確保等厚生連と見直しの協議を考えています。

問 25年度の病院事業会計予算では、厚生連が市に納付すべき額は約3億9千万円です。これを免除しさらに赤字補填。そして25年度から27年間指定管理料約90億円厚生連に支払

うのは制度から外れています。どのように改善しますか。

答 市民病院開院時に、皆様から指定管理料、債務負担行為を認められています。改善には、新年度厚生連と協議したいと考えます。



市の負担が多い市民病院

問 市長は当市の少子高齢化、過疎化対策についてどのように考え、成果は何でしたか。

答 特に若者の定住や移住の対策です。雇用増、定住にかかわる動機づけが成果です。

問 北秋田市指定管理者制度について検証されたとすれば改善すべき点は何ですか。

答 昨年「指定管理者制度運用に関するガイドライン」を定め、これで、業務の検証を行い一層のサービス向上を図ります。

問 北秋田市市民病院は指定管理者制度による施設にもかかわらず民間のノウハウで住民サ

議員：合川小建設で合中に支障 市長：支障のないよう練習場確保

問 合川小建設では、合川中に支障をきたすなら事前の説明が必要で、保護者の話では、合川中野球場が使用できないことを説明されているとのこと。どう

うなっていますか。

答 合川中野球場には校舎を建設予定。26年度から使用できるようにし、その間合川高校野球場または合川球場を使用する予定です。

福祉灯油の実施を



久留嶋 範子 議員(共産党議員団)

しているものと認識しています。今後の価格動向などをみながら対応していきたい。

問 豪雪により倒壊被害などが発生している空き家の対策は。

答 市内には639件の空き家があり、屋根や外壁のはく離など防災上危険と判断されるものは116件。実態調査の結果を3月中にとりまとめ、条例制定



倒壊した、家屋

も視野に入れながら、施策に反映させたい。

議員：交通アクセス対策は 市長：課題が多く、難しい

問 中小の通学路危険箇所への安全対策は、どうなっているか。

答 緊急合同点検による市道の危険箇所については、児童が安心して登下校できるよう、早急に対処していく。中学校もPTAを通して要望について、教委と協議の上対処したい。

問 市民病院への交通アクセスの整備が実現できていない。今後の

対策を考えているか。

答 以前、提案された内陸線とバスの一律切符は事業者と協議したが現状では難しいと考えている。「ワンコインバス」についても、実施には課題が多く、難しい。市民病院への交通アクセスは、重要な課題と認識し、ほかの方法も含め、引き続き検討していきたい。

電子レセプトの分析は



佐藤 文信 議員（新創会）

問 平成22年度国保特別会計は2億1100万円の赤字であり、平成23年度も県平均を上回る医療費の伸び率であります。

広島県呉市では、電子レセプト分析システムで医療機関の頻回受診者や生活習慣病のリスト作成等により、薬剤の併用禁忌など多様な分析の取り組みが効果的に進められており、電子レセプトの分析により適切な保健指導は生活習慣病の重症化の抑制や医療費の抑制に

は赤字であり、平成24年度も赤字が予想されています。このまま医療費が伸び続けるような状況が続けば基金の導入も考慮する必要があります。秋田国保連合会におきまして、平成25年10月稼働を目指して国保データベースシステム化が進められており、電子レセプトの分析により適切な保健指導は生活習慣病の重症化の抑制や医療費の抑制に



現在のレセプト点検作業（北秋田市）

も大変有効な手段であると認識しており十分活用したいと思えます。

議員：ぶな森線の県道昇格は

市長：回遊型観光として重要

問 ぶな森線1万7681mの整備計画のもと、平成13年ぶな森トンネル1511mが完成しております。熊牧場と国の重要有形民俗文化財阿仁マタギ狩猟用具の活用や森吉山観光をリンクした中でぶな森線の改修と県道昇格に向けての考えは。

答 平成22年度、23年度の単年度実績収支で

や熊牧場、そして玉川を含めて内陸部の回遊型の観光が可能となり観光振興や地域の活性化に欠くことのできない道路と位置付け、県道昇格を目指して北秋田地域振興局との意見交換会などで強く要望してきました。市でも予算計上しながら県とも交渉してまいります。

議案に対する議員の態度について

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席

議案名	所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	日本共産党議員団	政友会			みどりの風		新創会			きらり		清和会			公明党	無所属									
			福岡由巳	板垣淳	久留嶋範子	松橋隆	黒澤芳彦	中嶋洋子	庄司憲三郎	関口正則	三浦一英	堀部壽	佐藤重光	佐藤吉次郎	佐藤文信	松尾秀一	米澤一	松田光朗	小笠原寿	佐藤光子	大森光信	長崎克彦	山田博康	中嶋力蔵	吉田仁吉郎	武田浩人	金田司
【平成25年3月定例会／平成25年3月7日採決】																											
平成25年度北秋田市病院事業会計予算		可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度北秋田市病院事業会計補正予算(第2号)		可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度北秋田市一般会計予算		可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※全会一致で可決した議案、請願陳情の採決については除いております。 ※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。
 ※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、佐藤吉次郎議長は採決には加わりません。

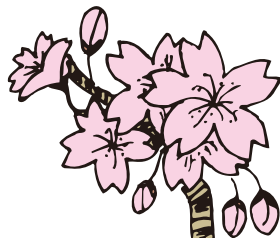
議案の内容は？

※今定例会や臨時会において、活発な議論が行われた議案や注目された議案の内容を詳しく説明します。

議案番号／議案名	内 容 説 明
【議案第33号】 平成25年北秋田市病院事業会計予算	業務予定量では、年間延入院患者数65,042人、年間延外来患者数131,831人、一日平均入院患者数178人、一日平均外来患者数543人を予定しております。収益的収入及び支出予算では、事業収益514,521千円、事業費用872,204千円となっており、予定損益計算では、当年度純損失は357,681千円で、当年度末処理欠損金1,434,182千円の見込みとなっております。資本的収入及び支出予算では、資本的収入71,284千円、資本的支出71,284千円となっております。また、一時借入金の限度額を100,000千円と定めております。

皆さんからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書について	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木章	採択	提出



選挙管理委員・補充員の
選挙の結果

選挙管理委員・同補充員の選挙は、議長の指名推選により、次のとおり決定しました。

◎選挙管理委員

畠山 勇悦（脇神）
櫻井 巖（下杉）
桂 邦夫（米内沢）
伊東 昇一（阿仁伏影）

◎選挙管理委員補充員

畠山 錠悦（木戸石）
石田 一男（阿仁水無）
佐藤 フサ（綴子）
庄司 佳徳（阿仁前田）

※選挙管理委員と同補充員は、いずれも再任。補充員は選挙管理委員に事故があった時に繰り上がる方です。



春の訪れを告げるキクザキイチゲ
（鷹巣中央公園）

人事案件

本定例会に人事同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

◎人権擁護委員候補者の推薦

澤藤 茂子（木戸石）

市議会議員補欠選挙
齋藤美津子氏当選



北秋田市議会議員補欠選挙の投票票が4月7日に行われ、齋藤美津子氏（64歳・鷹巣字東中岱）が当選されました。なお、所属常任委員会には教育民生常任委員会に決まり、会派には属さないこととなりました。

平成25年度議会事務局
職員体制

事務局長 土濃塚 廣孝
主幹 木村 元紀
副主幹 小坂 竜也
副主幹 渡辺 靖光
主査 工藤 留理子

あとがき

新年度当初予算は、市長選挙のため骨格予算となり、政策予算補正は、今後の議会に提案される予定になっております。又、今冬も大雪に見舞われ、除雪費が約5億4千万円に昇っていますが、被害を受けられた市民の皆様には心からお見舞い申し上げます。

最近では毎年のように地震や豪雨などによる大震災が続いていますが、地震は別として地球温暖化が原因だとすれば、異常気象は人災とも言えます。又、原発事故の対応やいじめ・体罰、教育界の隠ぺい体質など仁義にもとる、分別の無いことが多くなっていることは悲しいことであり、人としてあるべき姿勢を大切にしなければなりません。

当市議会では、議会のあるべき姿を定める議会基本条例の制定を目指し、昨年4月から議会改革特別委員会でも審議を継続中ですが、真の改革に繋がるのが何より重要です。今定例会では、病院事業会計を巡って活発な反対・賛成討論が行われましたが、これも改革の一端であるかと思いますので、議会の動向に注目をお願い致します。

（関口正則）

次の定例会は
6月です
市民の皆さまの傍聴を
お待ちしております

各常任委員会の会場
総務財政（阿仁庁舎）
教育民生（合川庁舎）
健康福祉（本庁舎）
産業建設（森吉庁舎）

た報公聴特別委員会

委員長 佐藤 光子
副委員長 武田 浩人
委員 長崎 克彦
関口 正則
大森 光信
渡辺 靖光
事務局担当